【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公開番号】特開2014-26112(P2014-26112A)
【公開日】平成26年2月6日(2014.2.6)
【年通号数】公開・登録公報2014-007
【出願番号】特願2012-166222(P2012-166222)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/16

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月30日(2015.6.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
上記の目的を達成するために、請求項１に記載の発明に係る画像形成装置は、第１のローラ及び第２のローラにより張架された無端状の駆動補助ベルトと、前記駆動補助ベルトの外側に掛け渡された無端状の中間転写ベルトと、を備え、前記第１のローラ及び前記第２のローラは、前記駆動補助ベルトを介してそれぞれの位置で前記中間転写ベルトを張架し、前記第１のローラ又は前記第２のローラのいずれか一方は、前記駆動補助ベルトを介して前記中間転写ベルトを循環移動させる駆動ローラである、ことを特徴とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のローラ及び第２のローラにより張架された無端状の駆動補助ベルトと、
前記駆動補助ベルトの外側に掛け渡された無端状の中間転写ベルトと、
を備え、
前記第１のローラ及び前記第２のローラは、前記駆動補助ベルトを介してそれぞれの位置で前記中間転写ベルトを張架し、
前記第１のローラ又は前記第２のローラのいずれか一方は、前記駆動補助ベルトを介して前記中間転写ベルトを循環移動させる駆動ローラである、
ことを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記中間転写ベルトの内側に配置され、前記第１のローラと前記第２のローラとの間において、前記駆動補助ベルトの前記中間転写ベルトに接しない面を押圧して前記駆動補助ベルトを張設する駆動補助ベルト張設ローラを更に有する、
ことを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記駆動補助ベルトは、少なくとも前記第１のローラの回転軸方向における中央部及び前記第２のローラの回転軸方向における中央部を除いて掛け渡される、

ことを特徴とする請求項１または２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記中間転写ベルトは、ポリイミドを素材とするフィルム状の部材で構成される、ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の画像形成装置。
【請求項５】
二次転写ローラをさらに備え、該二次転写ローラは前記中間転写ベルト及び前記駆動補助ベルトを介して前記中間転写ベルトの外側から前記第１のローラ又は前記第２のローラに圧接する、
ことを特徴とする、請求項１乃至４のいずれかに記載の画像形成装置。